

株主の皆様へ

既存事業を立て直し、
新規事業を軌道に乗せることで、
収益の改善を推し進め、持続的な成長と
中長期的な企業価値の向上を
図ってまいります。

代表取締役社長
嶋山 芳夫



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。第123期(2024年4月1日
から2025年3月31日まで)の決算を行いましたので
ご報告申し上げます。

経営環境について

国内景気が緩やかな回復を示す一方、個人消費や
設備投資の伸びは限定的であり、回復力にばらつき
が見られました。世界経済は米国新政権の通商政策
による影響に加え、中国経済の停滞、為替市場の変
動などが重なり、先行き不透明な状況は依然として継
続しています。

印刷業界におきましては、生活様式の変化やデジタル
化の進展による紙媒体需要の減少に加え、燃料費や
原材料価格などの高騰は継続するなど、厳しい状況
が続いており、各社とも印刷技術を活用した新たな分
野への進出を図っています。

当期の取り組みについて

印刷事業においては、営業面では、原材料や諸資
材価格の高騰に対して得意先の理解を得ながら製品価
格の適正化を進める一方、拡大する推し活市場への
対応として、オンデマンド印刷を活用し、オリジナル
フォトブック等を作成できるサービス「日々レコ」(商標
登録申請中)を開発しました。その他、高画質かつ色
の再現性に優れた高品質出力で複製画などを提供
するサービスを開始しました。生産面では、前連結会
計年度において行った工場の集約・統合効果を活かし、
グループ全体の機械稼働率の向上と内製化を推進
しました。

産業資材製造事業においては、半導体加工テー
プの一部製品の量産出荷を本年1月より開始しました。
半導体市場の動向や外部環境の影響により、得意先
における需要見通しや開発スケジュールに調整がみられ
る状況ではあるものの、その他製品についても量産化

に向けた技術的課題の解決への取り組みを進めました。また、当社が保有する北品川棟は、早期に不動産賃貸等事業に活用すべく、準備を進めています。

当期の業績について

売上高は147億56百万円（前年同期比0.4%増）となりましたが、損益面では営業損失1億58百万円（前年同期は62百万円の損失）、経常損失49百万円（前年同期は56百万円の利益）となり、特別利益として投資有価証券売却益4億33百万円など4億71百万円、特別損失として減損損失2億13百万円など2億96百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益70百万円（前年同期比24.5%増）となりました。

対処すべき課題

当社グループは、基幹事業である印刷事業の立て直しを図るとともに、新規事業の産業資材製造事業を軌道に乗せることで、収益の改善を推し進め、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図ってまいります。

印刷事業では、営業面においては引き続き得意先の理解を得ながら製品価格の適正化を進めています。また、「日々レコ」（商標登録申請中）、「高品質出力サービスMITSU-ART」、「インスタプロモーション」など新製品・新サービスのラインナップを拡充し営業活動を展開しています。生産面においては、狭山工場への集約・統合による効果を追求し、グループ全体の機械稼働率の向上と内製化への取り組みを

強化するとともに、新たに生産を開始した「専用封筒」や小・中ロットに対応した加工設備の効率的な運用により収益改善に取り組んでいきます。新聞生産においては、2026年1月の本稼働に向けて新聞新工場の建設が順調に進んでいます。株式会社読売新聞東京本社と事業運営体制の協議を重ね、準備を進めています。

産業資材・電子部品製造事業では、エッチング精密製品においては、業務提携先の強みを活かした提案活動を通じて、新製品・新規受注を取り込み、収益拡大につなげていきます。産業資材においては、半導体加工テープの安定供給を継続するとともに、当社の設備・環境の特長を活かした半導体用途以外の新たな市場も開拓し、製品ラインナップの拡充と事業基盤の強化に取り組んでいきます。

不動産賃貸等事業では、経営資源の有効活用と財務体質の強化を図り、当社が保有する北品川棟の早期活用を含め、現有資産の積極的かつ有効な活用に取り組んでいきます。

次期の見通しについて

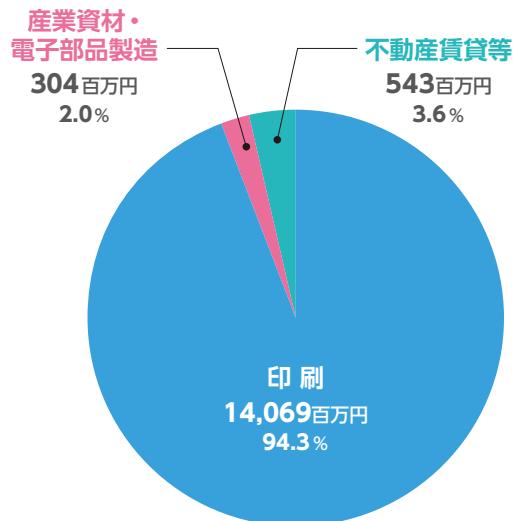
次期の連結業績見通しにつきましては、売上高148億円、営業利益1億円、経常利益2億円、親会社株主に帰属する当期純利益1億円を見込んでいます。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、ひとえにお願い申し上げます。

セグメント別事業報告

当社グループでは、宣伝用印刷物や新聞・出版、伝票、包装・パッケージ、厚紙封筒、映像制作などを扱う印刷事業、半導体加工テープなどの産業資材製品やエッチング精密製品を扱う産業資材・電子部品製造事業、本社ビル等の不動産賃貸や太陽光発電を扱う不動産賃貸等事業を行っています。

売上高構成比

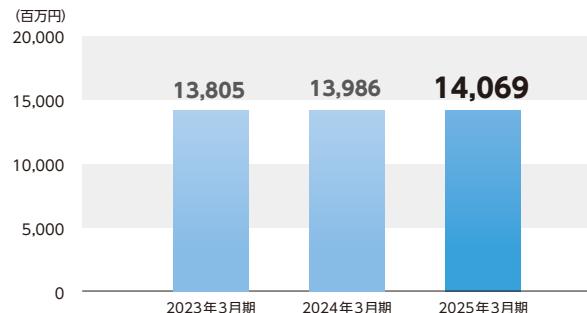


印刷



自治体の刊行物や厚紙封筒等の増加があり、売上高140億69百万円（前年同期比0.6%増）となりました。一方、利益面では、価格の適正化に向けた交渉を進めましたが、諸資材価格の高騰を吸収しきれず、セグメント損失（営業損失）3億13百万円（前年同期は3億51百万円の損失）となりました。

売上高 14,069百万円

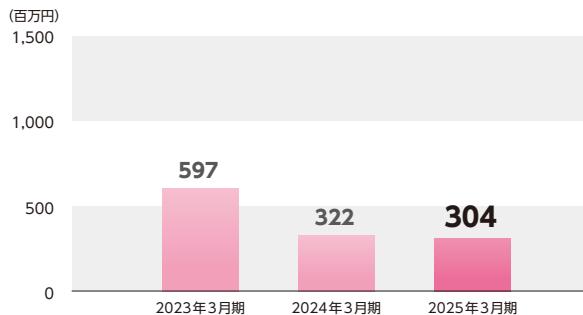


産業資材・電子部品製造



水晶関連業界への売上減少等により、売上高3億4千万円（前年同期比5.5%減）となり、産業資材製造事業立上げのための先行投資に関わる費用等もあり、セグメント損失（営業損失）1億5百万円（前年同期は0百万円の利益）となりました。

売上高 **304**百万円

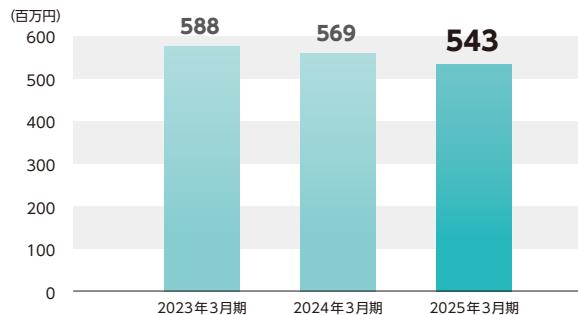


不動産賃貸等



売上高5億43百万円（前年同期比4.6%減）、セグメント利益（営業利益）2億60百万円（前年同期比9.5%減）となりました。

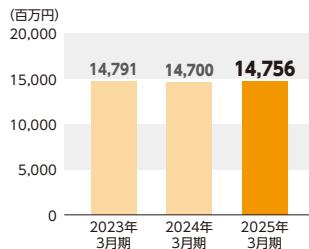
売上高 **543**百万円



連結計算書類

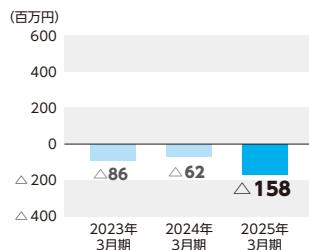
売上高

14,756
百万円



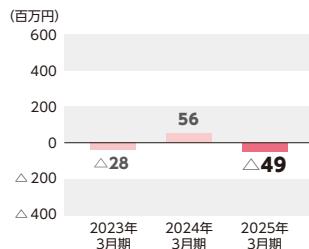
営業利益

△ 158百万円



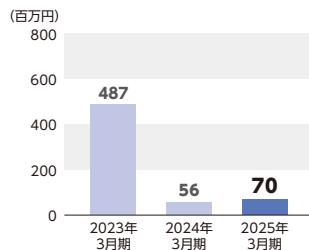
経常利益

△ 49百万円



親会社株主に
帰属する当期純利益

70百万円



連結貸借対照表要旨

(単位：百万円)

| 科目 | 前期末 2024年3月31日現在 | 当期末 2025年3月31日現在 |
|----------------|---------------------|---------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 10,218 | 10,377 |
| 固定資産 | 19,721 | 17,337 |
| 有形固定資産 | 11,183 | 10,932 |
| 無形固定資産 | 163 | 140 |
| 投資その他の資産 | 8,374 | 6,264 |
| 資産合計 | 29,939 | 27,715 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 5,720 | 5,381 |
| 固定負債 | 5,053 | 4,563 |
| 負債合計 | 10,774 | 9,944 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 15,911 | 15,828 |
| 資本金 | 100 | 100 |
| 資本剰余金 | 9,957 | 9,957 |
| 利益剰余金 | 5,940 | 5,857 |
| 自己株式 | △86 | △86 |
| その他の包括利益累計額 | 3,066 | 1,744 |
| 非支配株主持分 | 187 | 197 |
| 純資産合計 | 19,165 | 17,770 |
| 負債純資産合計 | 29,939 | 27,715 |

連結損益計算書要旨

(単位：百万円)

| 科目 | 前期 | 当期 |
|------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 2023年4月1日から 2024年3月31日まで | 2024年4月1日から 2025年3月31日まで |
| 売上高 | 14,700 | 14,756 |
| 売上原価 | 12,038 | 12,160 |
| 売上総利益 | 2,662 | 2,595 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,725 | 2,754 |
| 営業利益 | △ 62 | △ 158 |
| 営業外収益 | 208 | 209 |
| 営業外費用 | 89 | 99 |
| 経常利益 | 56 | △ 49 |
| 特別利益 | 431 | 471 |
| 特別損失 | 362 | 296 |
| 税金等調整前当期純利益 | 125 | 125 |
| 法人税等合計 | 62 | 42 |
| 当期純利益 | 63 | 82 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 6 | 12 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 56 | 70 |

次期の連結業績見通しにつきましては、売上高148億円、営業利益1億円、経常利益2億円、親会社株主に帰属する当期純利益1億円を見込んでおります。

連結包括利益計算書要旨

(単位：百万円)

| 科目 | 前期 | 当期 |
|-----------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 2023年4月1日から 2024年3月31日まで | 2024年4月1日から 2025年3月31日まで |
| 当期純利益 | 63 | 82 |
| その他の包括利益 | 1,717 | △ 1,321 |
| 包括利益 | 1,780 | △ 1,239 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 1,774 | △ 1,251 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 6 | 12 |

連結キャッシュ・フロー計算書要旨

(単位：百万円)

| 科目 | 前期 | 当期 |
|-------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 2023年4月1日から 2024年3月31日まで | 2024年4月1日から 2025年3月31日まで |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 468 | 943 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 538 | △ 118 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 597 | △ 334 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | — | — |
| 現金及び現金同等物の増減(△)額 | △ 667 | 489 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 7,149 | 6,482 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 6,482 | 6,972 |

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

オリジナルフォトグッズが簡単に作れる 新サービス「日々レコ」を開発

オンデマンド印刷の潜在ニーズや押し活市場の広がりを受けて、フォトブック等のオリジナルアイテムを簡単に作成できるサービス「日々レコ」(商標登録申請中)を開発しました。BtoBtoCでのサービス提供を目指し、旅行・宿泊、スポーツをはじめとしたさまざまな業界・企業への営業活動やトライアルを開始しています。

また、フォトブック等のアイテムは、デザイン制作～印刷・加工～宛名印字・封入作業まで、当社の設備やノウハウを駆使し一貫したフローで作成しています。

今後の展望としては、旅行やスポーツ等のエンタメ領域に加え、ペット、料理など、幅広い業界・用途に展開し、“かけがえのない日々を記録(record)する”という価値の提供を通じて、クライアントとその先のエンドユーザーとの結びつきの強化や、顧客満足度の向上、新たな顧客接点の創出に貢献します。



SDGsへの取り組み キャンバスアートコンテストに協賛

第4回キャンバスアートコンテストにおいて「光村印刷賞」の贈呈を行い、以下の内容で協賛しました。

(1) 複製画の贈呈と展示、(2) 光村印刷グループの名刺裏に作品を印刷、(3) デジタル壁紙カレンダーとしてメールマガジンやWeb上で配信。本取り組みにより、障がいのあるアーティストの作品を多くの方に知っていただく機会をつくることで、多様な人々が活躍できる社会の実現を目指しています。光村印刷は今後も「ともに作り、ともに伝える。」という企業理念のもと、SDGsの推進に取り組んでいきます。

キャンバスアートコンテストとは

一般社団法人キャンバスが2022年より開催している障がい者アートコンテストです。ECサイトを通じた投票(寄付)によって入賞作品が選ばれます。寄付をする方が応援したい作品を選び、選考に直接携わる形式することで、多くの方が障がいのあるアーティストの作品を知るきっかけを作ると同時に、寄付に触れる機会を増やすことを目的としています。



全国カレンダー展にて 日本商工会議所会頭賞を受賞

第76回全国カレンダー展（主催：一般社団法人 日本印刷産業連合会・産経新聞社）において、当社が印刷や制作に携わった7作品が入賞しました。

中でも、第1部門（BtoB向け企業カレンダー）ではYKK AP株式会社様の「Under the Same Sky」（写真左）が、第3部門（出版・小売販売・既成カレンダー）では公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館様の「アーティゾン美術館カレンダー 2025 Lサイズ」（写真右）がそれぞれ日本商工会議所会頭賞を受賞しました。

前者は、オフセット印刷では表現しにくい冴えたグリーンや透明感のあるブルーを忠実に表現するため、高色域のデジタル印刷を採用。カレンダー全体に広がる鮮やかな色彩が見る人の目に飛び込む仕上がりとなり、高く評価されました。後者は、所蔵作品の高精細画像を用いて紙面に大きく配したシンプルなデザインにより、実際の美術品と対峙した時に感じる質感や色彩の豊かさを細部まで丁寧に印刷で表現し、好評を博しました。



「モネ 睡蓮のとき」に協賛

当社では、2024年10月5日から2025年2月11日まで国立西洋美術館で開催された「モネ 睡蓮のとき」に協賛しました。

本展は、モネ晩年の制作に焦点をあて、世界最大級のモネ・コレクションを誇るマルモッタン・モネ美術館より、日本初公開作品7点を含む、厳選されたおよそ50点が出品され、日本国内の所蔵品も加えて名作が一堂に集結する充実した展覧会となりました。また、モネ晩年の最重要テーマ、「睡蓮」の作品20点以上が展示され、2メートルを超える大画面の〈睡蓮〉に囲まれて、モネの世界にひたる本物の没入体験が話題となり、最終的に来場者総数は80万人を超え、同館の企画展では歴代4位を記録しました。

当社では、アートを通じて文化・芸術活動を継続的に支援しており、今回も図録、スポットCM、チケット等の作成で協力しました。

※本展は、京都市京セラ美術館（3月7日～6月8日）に続き、豊田市美術館（6月21日～9月15日）で巡回展が開かれます。



会社概要 (2025年3月31日現在)

| | |
|----------------------------------|---------------|
| 商号 | 光村印刷株式会社 |
| 創業 | 1901年10月20日 |
| 設立 | 1936年12月21日 |
| 資本金 <small>(資本剰余金を含む)</small> | 100億57百万円 |
| 従業員 | 414名 (連結638名) |

事業所



本社

本社

〒141-8567
東京都品川区大崎
一丁目15番9号
電話：03-3492-1181 (代表)

大阪支店

〒541-0042
大阪市中央区今橋
二丁目2番17号
グロース北浜ビルディング3階
電話：06-6229-5120

川越工場

〒350-1165
埼玉県川越市南台
一丁目1番地1
電話：049-242-4025



狭山工場

〒350-1331
埼玉県狭山市新狭山
一丁目3番6号
電話：04-2955-1018



那須工場

〒324-0036
栃木県大田原市下石上
1378番7
電話：0287-29-2610



坂戸事業所

〒350-0214
埼玉県坂戸市千代田
五丁目3番17号
電話：049-227-6764

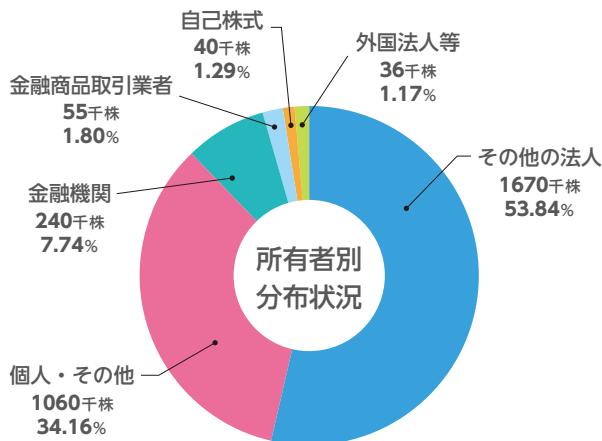
関係会社

新村印刷株式会社
株式会社光村プロセス
株式会社城南光村
光村商事倉庫株式会社
株式会社メディア光村
株式会社大洲
群馬高速オフセット株式会社

(2025年6月18日付で光村高速オフセット株式会社に社名を変更しました。)

株式情報 (2025年3月31日現在)

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 9,947,800 株 |
| 発行済株式の総数 | 3,103,420 株 |
| 単元株式数 | 100 株 |
| 株主数 | 2,365 名 |



大株主

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--------------------|---------|---------|
| 三菱製紙株式会社 | 511 | 16.70 |
| DIC株式会社 | 457 | 14.91 |
| 株式会社読売新聞グループ本社 | 224 | 7.33 |
| 江口 弘尚 | 131 | 4.29 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 112 | 3.67 |
| 株式会社SCREENホールディングス | 100 | 3.26 |
| 株式会社桜井グラフィックシステムズ | 71 | 2.32 |
| 三菱HCキャピタル株式会社 | 48 | 1.59 |
| 上田八木短資株式会社 | 44 | 1.45 |
| 阿部 茂雄 | 43 | 1.42 |

(注) 1. 持株比率は自己株式を除外して計算しています。

2. DIC株式会社の所有株式は、同社が退職給付信託の信託財産として拠出しているものです。(株主名簿上の名義は、「日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・DIC株式会社口)」です。)

株式事務のご案内

| | |
|------------|--|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 剰余金配当の基準日 | 3月31日及び中間配当の支払を行うときは9月30日 |
| 定時株主総会の基準日 | 3月31日 |
| 定時株主総会の開催 | 毎年6月 |
| 公告の方法 | 電子公告 (https://www.mitsumura.co.jp/) ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 |

| | |
|---------|--|
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 【郵送先】〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 |

| | |
|-------------|---|
| 特別口座の口座管理機関 | 三井住友信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話0120-782-031 (通話料無料) |

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座を開設されている証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



UD
FONT



光村印刷株式会社 [東証スタンダード：7916]

〒141-8567 東京都品川区大崎 一丁目 15 番 9 号

〈ホームページ〉

<https://www.mitsumura.co.jp/>

右記の QR コードからもご覧いただけます。

